

## 令和3年度 白河市文化芸術推進審議会第1回会議 会議録

○日 時 令和3年6月21日（月）10：00～11：05

○場 所 白河市役所 地下第1会議室

○出席者 委員8名

宮田委員、久保田委員、浅川委員、本宮委員、中上委員、  
青砥委員、和知委員、須藤委員

事務局5名

鈴木公室長、小峰課長、鈴木係長、根本主任主査、鈴木主任主査

○欠席者 委員2名 小林委員、山本委員

○配付資料 次第

資料1 令和3年度文化芸術関連事業について

資料2 令和2年度ふるさと文化振興基金の状況について

資料3 令和3年度白河市文化振興補助事業について

資料4 白河市文化芸術推進審議会について

参考資料1 白河市文化芸術推進審議会委員名簿

参考資料2 座席表次第

○公開状況 傍聴者なし

○内 容

1 開 会 10：00

2 会長あいさつ

3 議 事

※条例施行規則第5条第1項の規定、会長が議長となる。

(1) 令和3年度文化芸術関連事業について

(事務局が資料1により説明)

議 長

このことについて、質問などがあるか。

委員からの主な質問や意見（・）と事務局からの回答（⇒）

- ・アートによる文化振興事業で、東北芸工大との連携事業となった理由は何か。また、芭蕉白河の関俳句賞事業の海外の部について、姉妹都市との連携はとれないのか。太鼓櫓の場所はどこにあるのか。

⇒東北芸工大は芸術の専門大学で、地域連携事業に力を入れ、積極的に学生や教官を地域に派遣している。東北地方に広く展開しており、県内では棚倉町での実績があり、事業の委託相手として適切であると判断した。俳句賞は日本語での応募を想定しており、海外日系人へのアプローチが中心となるので、今のところ姉妹都市のあるフランス等への展開は難しいと考えている。太鼓櫓は法務局の北隣の急傾斜地にあり、隣接地へ移築することで利活用を図っていくものである。小峰城の現存する唯一の建物である。

- ・まちなか音楽 3Days について、東文化センターでの開催は予定されているのか。

⇒11月の日程で表郷、大信、東の各地域での実施予定がある。

- ・文化芸術関係事業として、文化振興課やコミネス以外の市役所の他課の事業が含まれているが、この審議会で意見を述べてもよいということか。

⇒他の課の事業も文化芸術に関係している事業があるので、ご意見があれば事務局より会議録等を提供することでお伝えしていきたい。

- ・文化芸術に関係する事業として、他の課が実施している事業はたくさんあるので、一覧にして整理しているのはよいと思う。「南湖写生大会」は、写生への取り組みが学校のカリキュラム上難しくなっている中で、魅力的な事業であると思う。かつて、30年くらい前は、写生大会といえば春の風物詩であったと聞く。「まちラボ学生プロジェクト」は、昨年、宇都宮大学の学生が「まちづくりをデザインする」というテーマで研究をしたいとのことだったが、エマノンを使っていた白河高校出身の大学生の取り組みであった。また、東北芸工大の学生が3名、インターンシップのためエマノンに1カ月滞在する予定である。このように、事業間でいろいろな繋がりがあるので連携していけたらいいと考えている。しらかわ演劇塾が高校生の演劇講習会を実施するというのも、教員の負担軽減を考えると、いい取り組みであると思う。なお、過去の審議会の会議録を閲覧できるようにしてもらいたい。

⇒議事録はホームページで閲覧できるように準備したい。

- ・「アートによる文化振興事業」の高校生の演劇講習会について、演劇塾が企画してい

るが、講師となるのは演出のプロである宮田会長やプロの劇作家で、劇作から演技、演出指導まで行う予定である。また、小峰城のお堀について、水の中に遺構や遺物があるかもしれない。水を抜いてくれる番組もあるので利用してはどうか。

⇒小峰城の堀の件は、文化財課に伝える。

- ・マイタウン白河で子どもたち（高校生）が放課後勉強している姿がある。いいことだと思う。マイタウンに限らず、図書館やコミネス、エマノンなど、高校生が居場所のできる施設が多くあり、市外の方から感心されたことがある。

- ・小峰城について、お城に宿泊できる機会があったらよい。宿泊のほか「夜景を楽しむ会」など、いろいろ工夫ができる。宮城県白石市では、お城に宿泊する「城泊」イベントがある。これまでとは違うアプローチで、文化財の価値を見出していくことも考えていってもよい。小峰城では、過去に二の丸で能を開催した経緯があり様々な可能性がある。

フィルムコミッションで小峰城を使う場合、三重櫓に上っていく階段についている手すりが金属で撮影の際には異質なものに映ってしまう。階段も「きれいすぎる」ため、撮影には不向きになっている。竹でできているような手すり、朽ちているように見えて安全な階段など、その場の風情を壊さないような工夫があれば撮影で使われやすくなる。

- ・小峰城の清水門の復元が完了すれば、城跡として、市のシンボルとして価値が高まる。復元にあたっては史実に正確にやっているのだから、その価値を理解してもらえようようにしてもらいたい。

⇒小峰城はいろいろな法的な規制もある場所であるが、利活用についても検討していきたい。ご意見として、文化財課、観光課にお伝えしたい。

- (2) 令和2年度ふるさと文化振興基金について  
(事務局が資料2により説明)

議 長

このことについて、質問などがあるか。

— なし —

- (3) 令和3年度白河市文化振興補助事業について  
(事務局が資料3により説明)

議 長

このことについて、質問などあるか。

— なし —

- (4) 白河市文化芸術推進審議会について  
(事務局が資料4により説明)

議 長

このことについて、質問などがあるか。

— なし —

## 6 その他

事務局 その他、委員の皆さんより何かありませんか。

委員からの質問や意見

- ・映画等の撮影に使用する「爆破」について、九州の筑豊がツーリズム大賞をとり、映画撮影関係者の間では著名になっている。地元で火薬を扱う産業があることが理由であるらしい。白河市も地元でそうした会社があり、広い土地と住民の理解があれば撮影を誘致しやすい環境となる。委員の皆さんの頭の片隅においてもらいたい。
- ・参考指標から「白河文化芸術アカデミーの設立の方向性」を削除したことについて、市内でアート展示をしたり、アーティストを誘致する場合には、現地にアートの文脈が分かる人物が必要となる。個人ではなく、組織として市内のアートを統合する役割が必要であると考えます。
- ・演劇などの舞台美術は大規模でありお金もかかる。現在、市内でつくることはできないが、アーティストや職人を芸術監督が調整して、そうしたものを作り出すことができれば、アートと産業が結びついた展開ができるようになる。  
⇒委員の皆さんの様々なご意見は、必要などころにお伝えし、また、今後の文化振興課の事業の中で意識していきたい。

— なし —

次回会議は来年2月に開催予定である。これから実施する市やコミネス等の事業を見ていただき、後にご意見を頂戴したいので、よろしく申し上げます。会議終了後、白河市複合施設整備基本計画の説明会を行いますので、ご参加ください。

7 閉 会 11:05